

# 環境報告書

2016



九州大学病院別府病院

# 1. 目 次

1.	目次	.....	2
2.	トップメッセージ	.....	3
3.	別府病院概要	.....	4
4.	環境安全教育	.....	5
5.	市民公開講座	.....	6
6.	環境月間	.....	7
7.	環境活動	.....	8
8.	エネルギー	.....	9・10・11
9.	環境安全	.....	12



## 2. トップメッセージ

当院は昭和 6 年より九州帝国大学温泉治療学研究所 附置病院として発足し、以来「温研」の愛称で別府市民の皆様に親しまれて参りました。平成 23 年に現在の九州大学病院別府病院として再出発いたしております。当院は優れた環境と伝統を踏まえ、がん、免疫疾患、生活習慣病、脊椎疾患などの難治性疾患を対象として患者さんに優しく侵襲の少ない先進的医療を提供しています。

現在、診療科は従来の内科（リウマチ膠原病、循環器、内分泌・糖尿病、血液、骨粗鬆症、老年病）、外科（消化器がん、乳がんなど）、整形外科（脊椎外科）、放射線科（画像診断、放射線治療）、麻酔科の 5 科で診療を行っております。特に、「九大温研」時代からの伝統で機能障害を有する患者さんには温泉療養を含めたリハビリテーション治療も積極的に行っています。

当院は九州大学病院の理念である「患者さんに満足され、医療人も満足する医療を提供する」の基本に立ち、患者さんとの信頼に基づいた安心できる専門的医療と患者さんの健康の増進のために質の高い医療の提供をめざしております。その実現のためには、病気を発症するメカニズムや治療標的分子を開発するなど、臨床応用をしっかりと出口に据えた臨床研究が必要です。われわれは古くから大学病院の附置研究所としての役割を努めさせていただきました。

ところが、近年、地球温暖化、紫外線暴露、食生活の高脂肪食化、高齢化社会の実現などの様々な生活因子・地球環境要因がこれらの疾患と密接に関わってきていることが次第に明らかになって参りました。

こんにちまで温泉の効能に関する研究などを歴史的に推進してきた学問の府として、これからも地球環境問題を対岸の火事と捉えずに、われわれに突きつけられた喫緊の課題として取り組んで参りたいと存じます。さらに、身近なところでは職員全員が環境に対する高い問題意識を持ち、一丸となって省エネルギーの推進、省資源化の推進、医療廃棄物及び一般廃棄物の適正管理及びゴミの分別・減量化等々に努めてまいります。



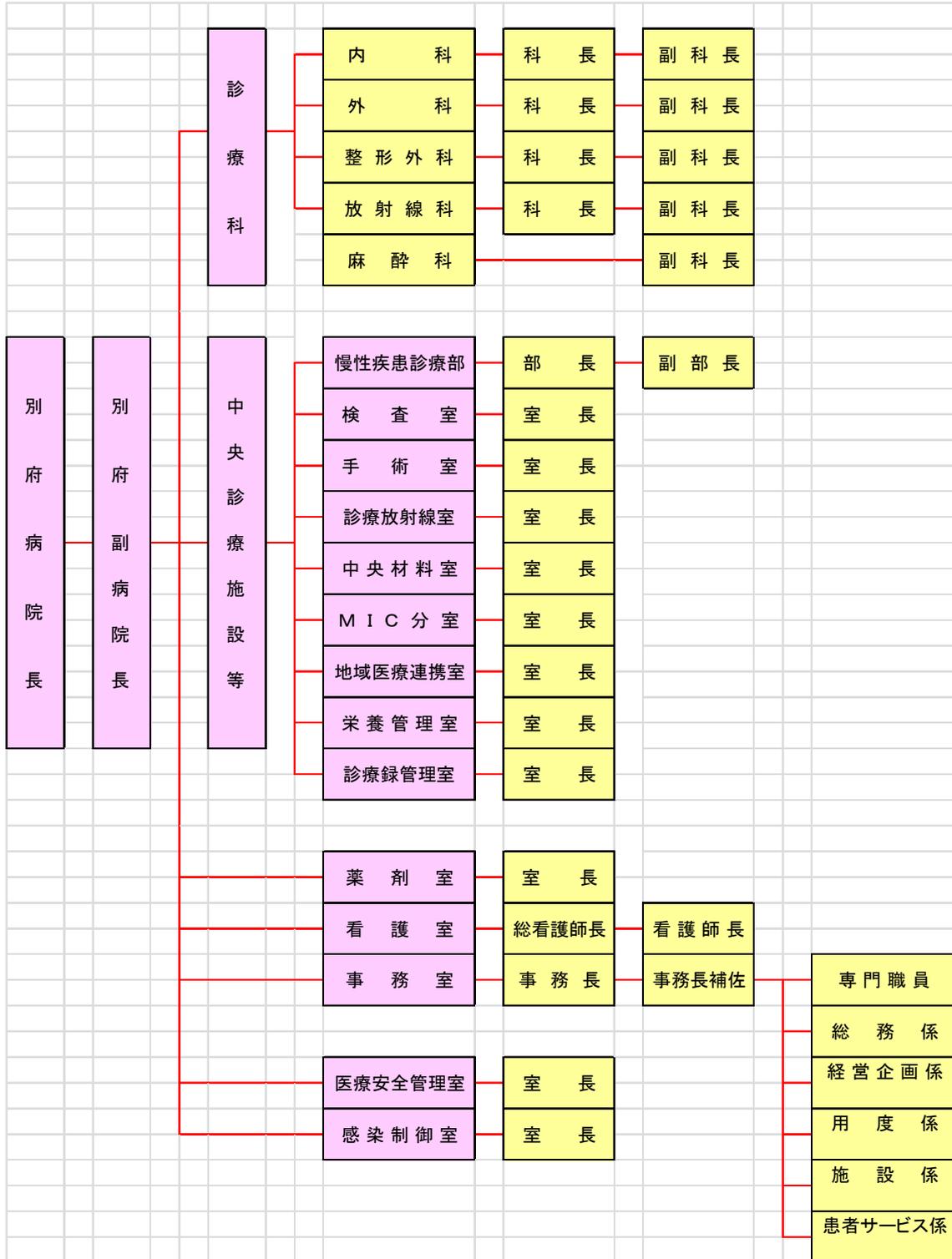
九州大学病院別府病院長  
堀内 幸彦（ほりうち たかひこ）

### 3. 九州大学病院別府病院概要

名 称	九州大学病院別府病院
理 念	患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指します。
基本方針	◇地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進 ◇プライマリ・ケア診療の充実 ◇全人的医療が可能な医療人の養成 ◇専門医療の高度化を目指した医学研究の推進 ◇国際化の推進 ◇生活の質が向上できる医療の提供
所在地	〒874-0838 大分県別府市大字鶴見字鶴見原4546 TEL 0977-27-1600 (代表) FAX 0977-27-1605 URL <a href="http://www.beppu.hosp.kyushu-u.ac.jp/">http://www.beppu.hosp.kyushu-u.ac.jp/</a>
病床数	一般 104床 療養 36床
沿 革	設 立 1931年(昭和6年) 10月 温泉治療学研究所附属病院 改組・統合 1982年(昭和57年) 4月 生体防御医学研究所附属病院 統 合 2003年(平成15年)10月 九州大学病院別府先進医療センター 統 合 2011年(平成23年) 4月 九州大学病院別府病院
構成員	(平成26年4月現在)
教 員	22人
医員・研修医	10人
医療技術関係職員	22人
薬剤関係職員	5人
看護関係職員	82人
事務関係職員	32人
その他職員	14人
合 計	187人

別府病院の組織図

平成28年4月1日現在



## 4. 環境安全教育

平成26年4月1日（金）に、九州大学病院からのテレビ中継を使い、転任者及び新規採用者に「新採用者合同研修」等に基づき、医師・看護師・職員が講師となり次のような安全教育を実施しました。

### 【講義内容】

1. 病院概要
2. 就業規則等について
3. 防災について
4. 薬剤とオーダーの運用について
5. 九大病院の栄養管理は
6. 診療放射線室について

平成28年度

新採用者合同オリエンテーション



九州大学病院別府病院

## 5. 市民公開講座

市民公開講座は、別府市民の皆さんに医療・医学についての情報伝達することにより、病気や健康に対する意識向上を図り、地域に対しての予防医学的な貢献に結びつけたいとの発想から、平成17年度から当院の医療従事スタッフが講演してまいりました。平成25年度より趣向を変え、年に1回程度当院医療従事スタッフの講演に加え、学外の有識者を招いて講演を行う形式で取り組んでいます。今年も8月に開催予定です。

過去3回の学外の有識者と講演テーマは以下の通りです。

九州大学病院別府病院 第1回 市民公開講座

特別講演 認定NPO法人リベンジナイス 理事長 川原 高行氏 15:00~16:00

「明日の子どもの笑顔のために」  
～スーダン・東日本大震災での活動～



■開催日時 平成25年5月17日(土) 14:00~16:00  
■開催場所 別府亀の井ホテル 2階「由布の間」  
大分県別府市中央町5-17 TEL: 0977-22-3381  
■定員 250名(先着)  
■参加費用 無料

講師紹介：川原 高行氏 九州大学出身 九州大学医学部出身 外科医  
当院勤務時代にスーダン(日本大使館に勤務していた際、スーダンの難民を支援して活動していた)と外務省を退職。科の経験も活かして国際医療を始める。  
その他、NPO法人「リベンジナイス」を立ち、発展途上の国に、医療や物資などで支援活動を行う。中でも「発展途上」の「子供にできる国際医療」では大きな役割を果たす。  
東日本大震災で「NPO法人リベンジナイス」を立ち上げた川原高行氏。2011年3月の東日本大震災で被災した子供たちの支援活動のため「子供」や被災地に住む高齢者を対象とし、国際医療による支援活動「国際医療」などの活動を通じて、海外スーダン(日本を去った)の活動を続けていく。

■各診療科の紹介 14:00~15:00  
内 科：「国民の皆さんへの大学病院としての責務～内科の立場から～」 福内幸彦内科学長  
外 科：「手術で国民の皆さんを救うために～大学病院外科の役割～」 三森寿士外科部長  
産婦人科：「産婦人科の役割～産科の現場から～」 土井美津子産婦人科部長  
放射線科：「九大別府病院の放射線診療の概要」 平川康和放射線科部長  
～CT・コリグラフィーと放射線治療～」

主催：九州大学病院別府病院 お問い合わせ先 TEL: 0977-22-1802(総務課)

平成25年度

第2回 九州大学病院別府病院 市民公開講座 (14:00~18:00)

特別講演 毎日新聞デジタル報道センター副センター長

元村 有希子氏  
「科学にだまされないうために」  
司会：九大別府病院院長 三藤功士



■開催日時 平成26年6月14日(土) 15:00~16:00  
■開催場所 別府亀の井ホテル 2階「由布の間」  
大分県別府市中央町5-17  
■定員 250名(先着)  
(お申込・お問合せは下記連絡先まで)

■参加費用 無料

特別講演者 元村有希子氏は、1986年、九大の理学部物理学科に入学し、物理学を専攻。物理学専攻で修士号を取得後、毎日新聞に入社。毎日新聞のデジタル報道センター副センター長として活躍中。元村氏は、科学の発展と社会との関係について、多くの講演や執筆活動を行っている。また、科学の発展と社会との関係について、多くの講演や執筆活動を行っている。

■各診療科から最新情報の提供 14:00~15:00  
内 科 「国民への医療～内科の現場から～」 福内幸彦  
外 科 「最新医療の最前線～外科の現場から～」 三森寿士  
産婦人科 「産婦人科の役割～産科の現場から～」 土井美津子  
放射線科 「放射線診療の最新情報～放射線科の現場から～」 平川康和

主催：九州大学病院別府病院  
申込先(総務課) tel 0977-22-1802 fax 0977-22-1809 Email ebisawa@jimu.kyushu-u.ac.jp

平成26年度

第3回 九州大学病院別府病院 市民公開講座 (14:00~18:00)

特別講演 「がんに匂いがありますか？」

■講師：園田英人(医師) 九州大学医学研究院 消化器・総合科学分野 外科集学的治療学講座 助教

■日時 平成27年6月7日(日) 15:00~16:00 司会：九大別府病院院長 三藤功士

■場所 別府亀の井ホテル(別府市中央町5-17) 2階「由布の間」

■定員 250名(先着)

■参加費 無料(お申込・お問合せは下記連絡先まで)



九州大学病院別府病院院長 三藤功士(司会)と園田英人氏(講師)の講演の様子。園田氏は、がんの診断に匂いを利用する最新の研究成果について講演した。園田氏は、がんの診断に匂いを利用する最新の研究成果について講演した。

■別府病院診療科から最新情報の提供 14:00~15:00  
内 科 「最新医療の最前線～内科の現場から～」 福内幸彦  
外 科 「最新医療の最前線～外科の現場から～」 三森寿士  
産婦人科 「産婦人科の役割～産科の現場から～」 土井美津子  
放射線科 「放射線診療の最新情報～放射線科の現場から～」 平川康和



主催：九州大学病院別府病院  
申込先(総務課) tel 0977-22-1802 fax 0977-22-1809 Email ebisawa@jimu.kyushu-u.ac.jp

平成27年度

## 6. 環境活動

### (1) 職員による清掃活動

病院内では、環境美化を目的として勤務時間以降に不定期ではありますが、職員（医師・技師・看護師・事務職員）による清掃活動（草取り）など、外来診療棟前ロータリーから正門周辺草取り、構内道路の落ち葉やゴミ拾いなど、環境美化のための活動を行い、梅雨前には建物の屋上樋廻りに溜まっているゴミ等の清掃を行っています。

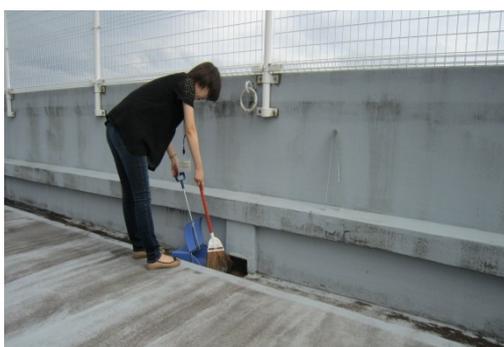
パトロール風景



構内清掃



構内清掃



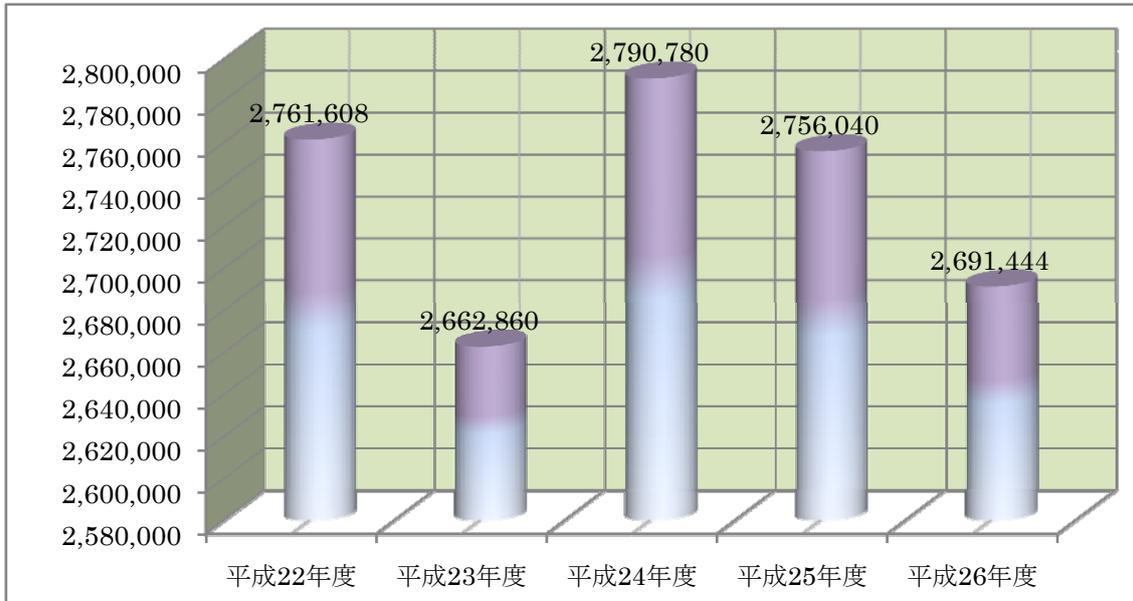
建物屋上清掃



建物屋上清掃

## 8. エネルギー

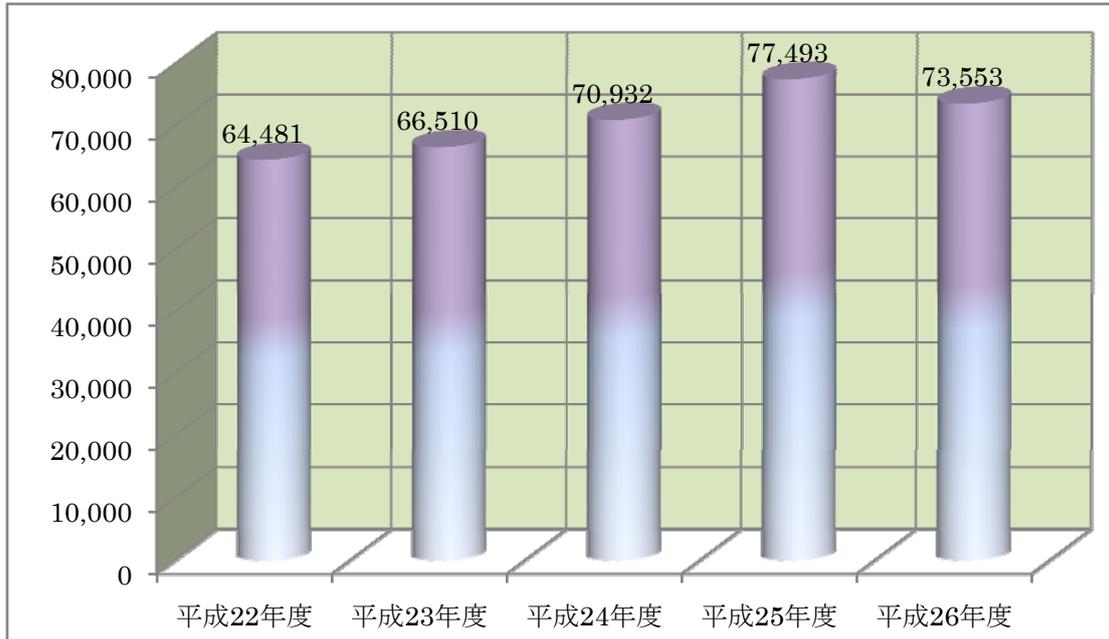
別府病院でも、エネルギー管理を行うために下記の表を作成してエネルギーの管理資料としています。



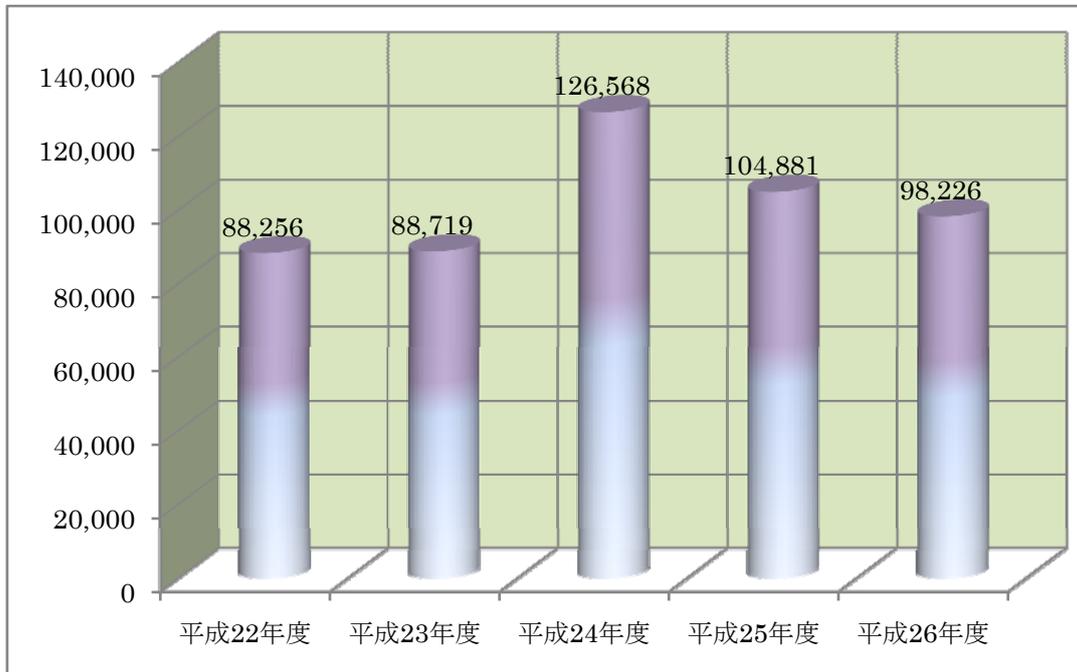
電気使用量 (kWh)



上水使用量 (m3)

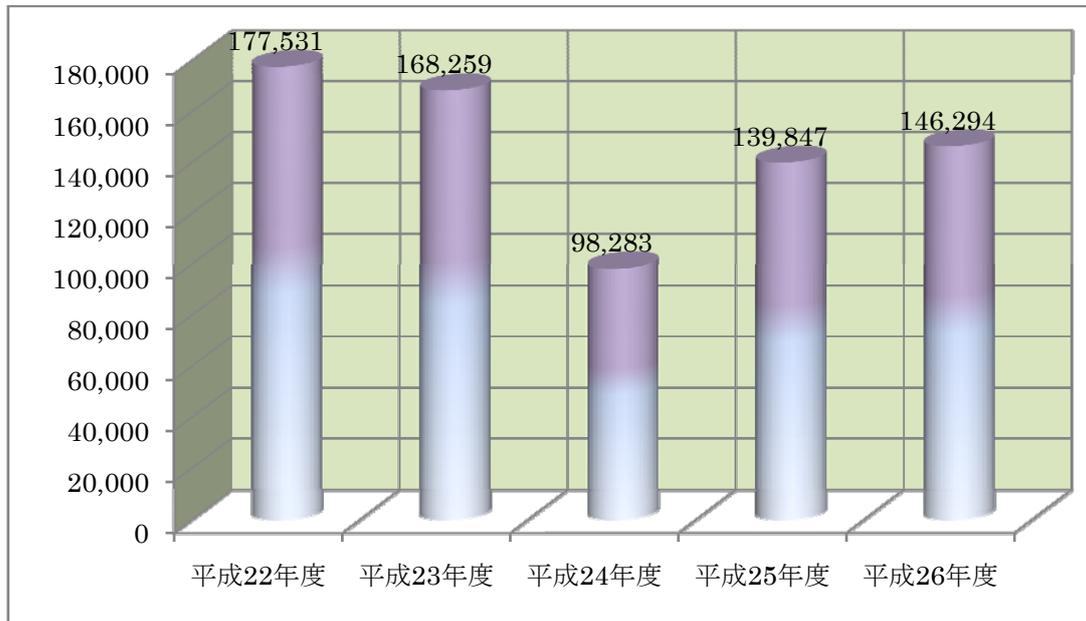


下水使用量(m3)



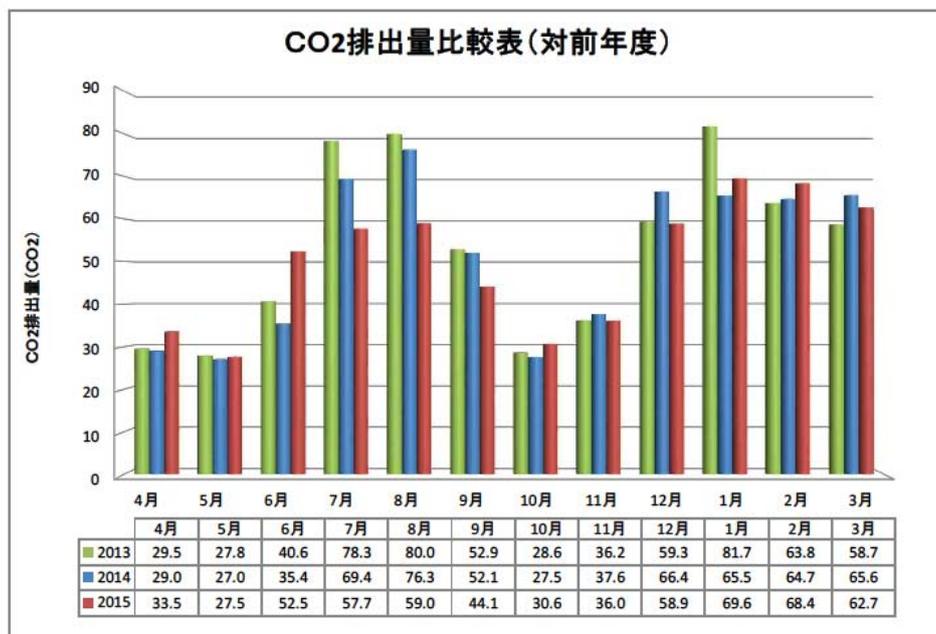
ガス使用量(m3)

平成2年度末、重油地下タンク改修のため増加



**A 重油使用量(L)**

平成24年度末、地下タンク改修のため減



**CO2 排出量比較表 (月別年度比較)**

## 9. 環 境 安 全

別府病院では、医療廃棄物（感染性・非感染性）及び一般廃棄物（可燃・不燃）を分別して集荷しています。医療用廃棄物については、その取り扱いについて注意する必要があります。医療で使用した針はさらに個別の専用容器に入れて廃棄しています。



専用の分別容器に入れて廃棄を行っている。  
左から可燃、非感染性  
廃棄物、感染性廃棄物  
×2



医療で使用した廃棄  
する針を入れる専用容  
器



廃棄物置場においても  
分別して集荷している  
左から段ボール、感染性  
医療廃棄物、非感染性医  
療廃棄物不燃物、可燃物

別府病院には、桜が多くシーズンには患者さん・別府病院関係者及び周辺住民の心を癒してくれています。本年も3月中旬から4月上旬の夜間（18：00～21：00）に病棟南側と正門通路の桜のライトアップを行いました。耐震工事のため病棟からの範囲は昨年より縮小しましたが、入院患者さんを始め看護師・医師・職員にも好評でした。また、駐車場横に花壇を設置し、フジバカマを植えました。今秋にアサギマダラが飛来することを願っています。



桜の昼間・夜間ライトアップ



花壇を設置（水仙、フジバカマ、ポピー等を植栽）